

愛・地球博で岡崎に会う!

愛知県パビリオン「あいち・おまつり広場」に、岡崎より2事業所が期間限定で出店します。同期間に万博を訪れる方はぜひお立ちよりください。



愛知環状鉄道「万博八草駅」でリニモに乗り換える時、正面に登場フタバ産業株の看板

味 万博で岡崎の味に出会う

地元の“おいしい”を発信

～ ミヤコ株式会社 ～

取締役社長 都築 齊氏 (0564) 52 - 6611
岡崎市藪田2-5-4 <http://www.buyers.ne.jp/miyako/>

地元で万博が開催されるまたとないチャンスです。自社の情報発信はもちろん、地元にあるおいしいものの情報を発信します。万博に合わせて製品開発を行い、魅力的な商品が誕生しました。

(出店期間: 5/16 ~ 5/20)

《矢作鯉玄米ボンセン》

岡崎で鯉を使った鯉農法で作られている無農薬米を原料にした“ボンセン”をつくります。味付けは、地元岡崎の八丁味噌。素朴ながら旨みのあるボンセンに仕上がっています。

《花かりんとう》

額田で作られた豆腐とおからを原料に練りこみました。厳選した材料で、出来上がりの製品の風味も格別です。

* どちらも地元の原材料にこだわった自信作です。万博会場でぜひお買い求めください。



岡崎市の日(7/27、9/3)には、愛知県パビリオン「あいち・おまつり広場」で物産品の販売を行います。当日は、岡崎石製品 連合会・岡崎商業高等学校・八丁味噌・備前屋・丸石醸造(株)・(株)まるや八丁味噌(50音順)の6社が物販を通じて“岡崎”をPRします。

「あいち・おまつり広場」で“岡崎”をPR

地球市民村内にあり、おいしくて体にも良い自然食の「ナチュラルフードカフェ」の食材に岡崎企業の製品が使われています。

大豆のグルテンで肉の食感を出した“唐揚げ”等に太田油脂(株)の菜種油「赤水」がかかっているタレにはカクキュー八丁味噌が使われています。また、建物には「匠の塗油」太田油脂(株)が使用されています。夏場には岩瀬食品(有)の麺も登場予定。



写真: 愛・地球博 公式HPより

海外のお客さんにも

“えびせん”のおいしさを!

～ 株式会社三光食品 ～



代表取締役 犬塚光知氏
岡崎市新堀町字東小平田15-1
(0564) 31 - 1739
<http://www.smile.cci.or.jp/hp/sankou/>

当社は業態柄各種イベントに積極的に出店しています。今回は、三河湾でとれた食材を使用したえびせんべい1種類の販売を行います。

“せんべい”という食べ物は、地域性の高い食べ物です。この地域ではえびせんの認識はかなりのものですが、関東でせんべいと言えば“草加せんべい”の名前が一番にあがります。日本各地・海外からもお客さんがみえる万博で、気軽にえびせんべいを味わっていただき、売り手も買い手も楽しくなるような売り場を展開して行きたいです。

(出店期間: 6/13、6/15 ~ 6/17)

技

モリゾー・キッコロメッセ内「モノづくりランドシンフォニア(主催:名古屋商工会議所)」中部地域の中小企業の技術力・開発力をPRするこのコーナーに岡崎から2事業所が参加。(3/25 ~ 4/24)



東海光学(株)

代表取締役 古澤武雄氏
岡崎市恵田町下田5-26
(0564) 27 - 3000
<http://www.tokaiopt.co.jp/>



『不思議な光学の世界をのぞいてみよう』をテーマに、光学薄膜の技術で“不思議”が体験できる同ブース。4/17には、

光の角度を変えることで色が刻々と変わる世界地図。



ミニ体験講座を実施。特定の光を反射・透過させる性質を、実際に光学薄膜加工を施したレンズで参加者が“不思議”を体験しました。

(株)中日ステンドアート

代表取締役 溝口裕章氏
工房・ショールーム (0564) 43 - 2811
岡崎市在家町竹戸10 <http://www.mis.ne.jp/~artglass/>

順路に沿って歩いて行くと突如現れる暗闇。天井には巨大なシャチが。映像と照明が“海”を演出し、ブラックライトが照射されると何もなかった壁に、海中の風景が浮かびあがります。実際の映像をお見せできないのが残念...



参考: モノづくりランド・シンフォニア ガイドブック

匠

地球市民村に1ヶ月(3/25 ~ 4/30)にわたり参加した「おかざき匠の会」。“平和希求”というテーマを各作品を通じて表現しました。

「命と平和のメッセージ」世界に向け発信

～ おかざき匠の会 ～



徳川家康公の命日にあたる4/17、地球市民村:大地の広場で「命と平和のセレモニー」を開催。特別ゲストに家康公の子孫:徳川第18代宗家:徳川 記念財団の徳川恒孝氏と、平和外交の見本とも言える朝鮮通信のご縁から、李氏朝鮮の領議政(いまの総理大臣に相当)だった柳成龍一族の子孫にあたる柳聖杰領事を迎えて、四百年の時を超え歴史に新たな1ページを加えた。徳川氏は、「私達は韓国から多くのことを学んだ。戦争がなく、持続可能な高度の循環型社会だった江戸時代の基礎を築いた徳川家康公。彼を生んだ岡崎の地の方々は、今もこうして大



堅い握手を交わす徳川氏(左)と柳領事

切なことを行っている」と述べ、柳氏は、「様々な問題があれど、日韓関係の大切さを再認識して欲しい。平和の理念で世界平和を築くことを強く希望する」と平和への想いを訴えた。最後におかざき匠の会起草の「命と平和のメッセージ」に署名し、堅い握手を交わした。



同セレモニーは、魔を祓い、命の平安を願う古式「ひきめ」で幕を開け、「厭離穢土・欣求浄土」の旗の掲揚、五万石太鼓・韓国太鼓の競演、フィナーレには三河手筒花火があげられ、雰囲気盛りあげた。

駐名古屋大韓民国総領事館領事。

おかざき匠の会は、愛知県パビリオン「あいち・おまつり広場」に出店します。匠の作品を展示・販売します。(期間7/24 ~ 7/27、9/3)



日本のみならず、各国世界が参加している万博という場所で岡崎の企業の元気な姿に出会うのは、とても嬉しいです。こうした企業の頑張りや“岡崎”という名前をより広く知らしめるキッカケになるわけで、声援を送らずにはられません。岡崎は元気にがんばってます。

(体験者: 竹内由起子)

記事内会場は全て長久手会場